第 2 章

文字の入力

文字入力の前に知っておいていただきたいこと

文字の入れかたの要点を簡単に紹介します。詳しい操作を知りたいときは、参照ページをご覧ください。また、文字を入力する方法には、「かな入力」と「ローマ字入力」の2種類があります。「かな入力」と「ローマ字入力」を切り替えたい場合は、199ページをご覧ください。

文字を入れる画面は…

例 宛名作成画面(▶▶69ページ)

宛名：登録 ひら
姓
名
読み
敬称 様
〒
住所
実行 登録

文章編集画面(▶▶132ページ)

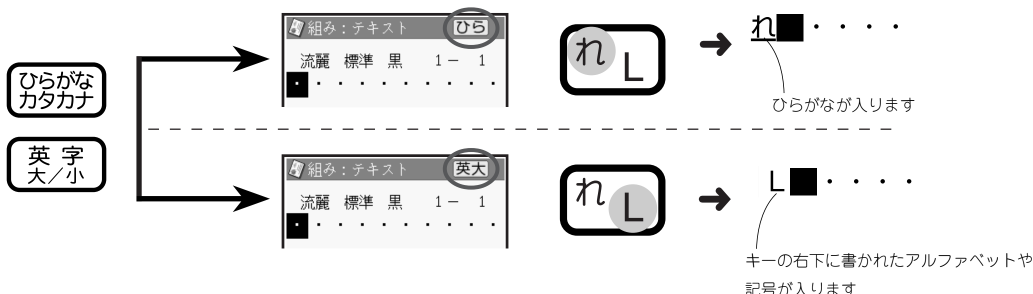
組み：テキスト ひら
流麗 標準 黒 1− 1
実行 終了

禁則桁の表示

組み合わせ作成(▶▶126ページ)、オリジナルはがき作成(▶▶140ページ)、コメントプリント(▶▶163ページ)、写真俳句の「応用作成」(▶▶176ページ)で文面を作成しているとき、2行以上の文章を入力すると、自動的に禁則処理が行われ、行頭には行頭禁則文字(「、」「。」「,」「.」)と改行マーク(「↲」)は配置されません。入力画面上では、行末に禁則桁が表示され、文字の入力がない場合には、空白になります。

文字キーの使いかた

1つのキーには2つの文字が書かれています。
[ひらがな/カタカナ] [英字 大/小] を押して、どの文字を入れるのかを選びます。



入力する文字の種類の切り替えかた（▶▶38ページ〜50ページ）



画面右上の表示によって、入力できる文字の種類が変わります。

ひらがな入力

「きく」を入れます

▼

[ひらがな/カタカナ] を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させる

▼

[き ?] [く ヴ] [実行（進む）]

▼



カタカナ入力

「キク」を入れます

▼

[ひらがな/カタカナ] を何回か押して、画面右上に「カタ」を表示させる

▼

[き ?] [く ヴ]

▼



漢字入力

「菊」を入れます

▼

[ひらがな/カタカナ] を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させる

▼

[き ?] [く ヴ] [変 換] [実行（進む）]

▼



アルファベット入力

「Sun」を入れます

▼

[英字 大/小] を何回か押して、画面右上に「英大」を表示させる

▼

[ち S] [英字 大/小] [ゆ U] [わ N]

▼



●数字を入れるときは、数字キーを押します。数字は、どの状態でも入れることができます。

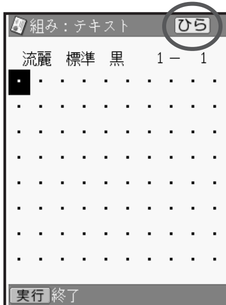
ひらがな・カタカナを入れる

ひらがな・カタカナの入れかたを説明します。
※[長音](ー)と[-](ハイフン)を間違えないように、注意してください。

ひらがなを入れる

例 さくら

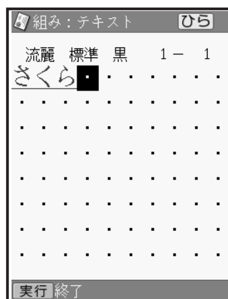
1 [ひらがな/カタカナ]を何回か押して、画面右上に「ひら」を表示させます。



■をカーソルといいます。文字が入る位置を示します。

2 [さQ][くヴ][らH]**と押します。**

ローマ字入力のときは、[ちS][たA][るK][ゆU][せR][たA]と押します。
「文字の入力方法(入力モード)を切り替える」
▶▶199ページ



3 [実行(進む)] **を押します。**



キーを押し間違えてしまったら…

- **文字を間違えていたら**…51ページ「間違えた文字を直す」
- **文字が抜けていたら**…52ページ「文字の抜けているところに文字を追加する」
- **文字を消したいときは**…51ページ「間違えた文字を消す」
- **はじめからやり直したいときは**…57ページ「文字をまとめて消す」

画面に同じ文字がいくつも表示されたときは

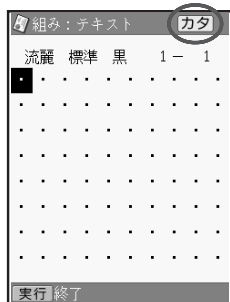
キーを長く押し続けていると、その文字が連続して表示されます。そのときは[取消し(戻る)]を押します。文字が画面から消えます。
キーは、ポンッと軽くたたくように、押してください。

重要 [取消し(戻る)]を押して消すことができるのは、カーソルが文字に重なっているときだけです。
数字キーを押し続けたときや、文字を確定したあとは、消したい部分にカーソルを合わせて[削除]を押します。

カタカナを入れる

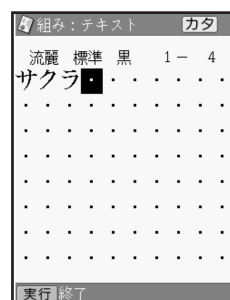
例 サクラ

1 [ひらがな/カタカナ] を何回か押して、画面右上に「カタ」を表示させます。



2 [さQ] [くヴ] [らH] と押します。

ローマ字入力のときは、[ちS] [たA] [るK] [ゆU] [せR] [たA] と押します。
カタカナはキーを押したと同時にその文字に確定されます。



「ぱ」や「ゃ」などを入れる

キーの上に印刷されていない文字を入力するときは、このページの表を見て入力してください。
また、本機の前面上部には「かな入力」の場合の入力例が印刷されており、キーボードを開いた状態のとき、下表に記す文字の入力の方法を、簡単に確認することができます。
ローマ字入力のときの文字の入れかたは、225ページの「ローマ字入力対応表」をご参照ください。

文字の例	呼び名	かな入力のとき	ローマ字入力のとき
は	清音	[はカ]	[らH] [たA]
ば	濁音	[はカ] [゛O]	[のB] [たA]
ぱ	半濁音	[はカ] [゜P]	[゜P] [たA]
ゃ	拗音	[シフト かな小] [やY]	[にX] [やY] [たA]
っ	促音	[シフト かな小] [つD]	[にX] [そT] [ゆU]
。	句点	[シフト かな小] [ほ。]	[ほ。]
、	読点	[シフト かな小] [へ、]	[へ、]

小文字や「々」「ゞ」、「ゐ」「ゑ」などの旧仮名遣いの文字などは、「記号」の「入れにくい文字」で入れることができます（▶▶50ページ）。

漢字を入れる

漢字を入れるには、まずその漢字の「読み」をひらがなで入れます。例えば、「花」は「はな」と入れます。ひらがなから漢字に変えることを「変換」といいます。［変換］を何回か押し、使いたい漢字が表示されたら、［実行(進む)］を押して、ほかの漢字に変わらないように確定します。
目的の漢字に変換できないときは、一文字ずつ漢字を入力します。
「目的の漢字に変換されないとき」 ▶▶43〜47ページ

漢字を入れる

例 今日行きます

1 「きょういきます」とひらがなで入れます。

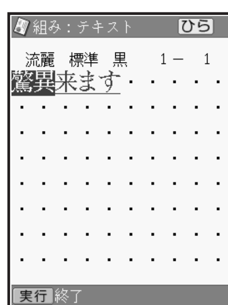


2 ［変換］を押します。

↓

「きょうい」と「きます」という2つの言葉と認識したため、「驚異」と変換されます。

「驚異」が反転します。
※1つ目の文節が目的の漢字に正しく変換されているときは、を押して正しく変換されていない文節に反転を移動してください。最後の文節まで目的の漢字に正しく変換されているときは、［▶］を押して最後の文節に反転を移動して［実行(進む)］を押してください。漢字が確定します。



3 ［シフト かな小］［◀］と押します。

「きょうい」を「きょう」という言葉に区切るためです。
「きょう」が「今日」に変換されました。



4 ［実行(進む)］を押します。

「今日」が確定されます。
「いきます」という言葉が残ったと認識したため、「生きます」に変換されました。



5 変 換 を何回か押して、「行きます」にします。

変 換 を押すたびに、「いきます」の候補が次々に表示されます。



6 「行きます」になったら、実行(進む) を押します。

「行きます」が確定されます。



同じ読みのある漢字(同音異義語)を選ぶ

複数の漢字が当てはまる「読み」(同音異義語)から漢字を選ぶ方法を説明します。

例 **講演**

1 「こうえん」とひらがなで入れます。



2 変 換 を押します。

「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。

3 変 換 を何回か押して、「講演」にします。

変 換 を押すたびに、「こうえん」に合った漢字が次々と表示されます。



4 「講演」になったら、実行(進む) を押します。

「講演」が確定されます。

学習機能について

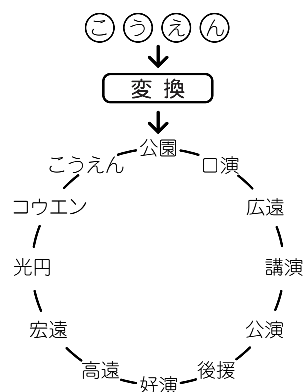
「こうえん」という読みを「講演」で確定したとします。次回「こうえん」という読みで変換すると、「講演」が一番はじめに表示されます。これは、前回使った漢字を本機が覚えているためです。
このように、前回使った漢字を最初に表示することを学習機能といいます。

ひらがなを漢字にするルール

「よみ」を入れる　漢字に変える　確定する



確認するまえに、さらに 変換 を押すと、「こうえん」に当てはまるほかの候補が表示されます。前候補 を押すと、前に表示されていた候補の文字が表示されます。



変換中に文字を間違えたら…

変換中に文字の間違いに気がついたら、取消し(戻る) を押してください。



変換前の「よみ」の状態に戻る
文字を訂正することができます

入力した「よみ」が消える
はじめから、入力し直すことができます

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

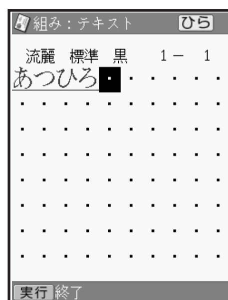
次のようなことが考えられます。
- 「週(しゅう)」を「しゆう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している

目的の漢字に変換されないとき①（単漢字変換）

むずかしい漢字や珍しい固有名詞などは、［変換］を押しても正しく変換されません。このような場合、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

例 敦廣（あつひろ）

1 「あつひろ」をひらがなで入れます。



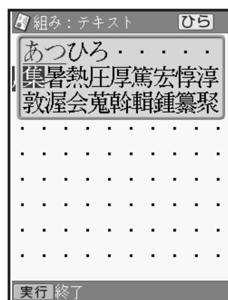
2 ［変換］を何回か押します。

何回押しても、「敦廣」に変換されません。



3 ［単漢字］を押します。

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます。



4 ［▲］［▼］［◀］［▶］を何回か押して、目的の漢字を選び、［実行（進む）］を押します。

「敦」が確定されます。



5 手順**3**から**4**と同様の操作をして目的の漢字（廣）を選び、［実行（進む）］を押します。



目的の漢字に変換されないとき②（漢字辞書）

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。
漢字の呼び出しかたは、4種類あります。

- 「読み」　読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数」　総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首」　部首から該当する漢字を呼び出します。
- 「区点コード」　漢字の一覧表から入力したい文字を見つける（JIS区点コード）。

漢字辞書機能は文字が入力できる画面および文面、宛名（「読み」および「郵便番号」入力時を除く）の各メニュー画面から入ることができます。ただし、文字が未確定のときや、漢字に変換している途中では漢字辞書は使えません。

読みから呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、［漢字辞書］を押します。

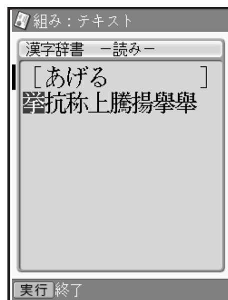
2 ［▲］［▼］で「読み」を選び、［実行（進む）］を押します。



3 「あげる」と入れて、［実行（進む）］を押します。

「あげる」と読む漢字の一覧が表示されます。データに続きがあるときは［▲］［▼］を押すと続きを見ることができます。

- 最大7文字まで入力できます。



4 ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して挙にし、［実行（進む）］を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 ［実行（進む）］を押します。

「挙」という漢字が入ります。

総画数から呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書] を押します。

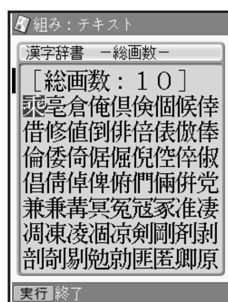
2 [▲] [▼] で「総画数」を選び、[実行(進む)] を押します。



3 [1] [0] と入れて、[実行(進む)] を押します。

[◀] または [▶] で画数を指定することもできます。

10画の漢字の一覧が表示されます。



4 [▲] [▼] [◀] [▶] を押して挙にし、[実行(進む)] を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

5 [実行(進む)] を押します。

「挙」という漢字が入ります。

部首から呼び出す

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書] を押します。

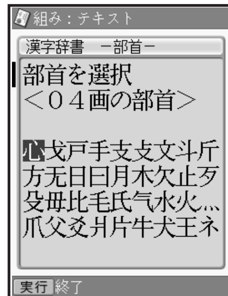
2 [▲][▼] で「部首」を選び、[実行(進む)] を押します。



3 「挙」の部首の「手」は4画なので [0][4] と押し、[実行(進む)] を押します。

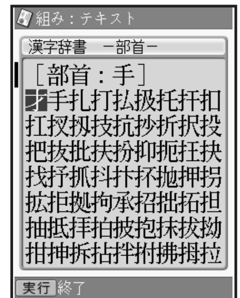
4画の部首の一覧が表示されます。
[◀]または[▶]で部首の画数を指定することもできます。

部首の候補が他にもあるときは[▲][▼]を押すと続きを見ることができます。



4 [▲][▼][◀][▶]を押して手にし、[実行(進む)] を押します。

「手」が部首の漢字の一覧が表示されます。



5 [▲][▼][◀][▶]を押して挙にし、[実行(進む)] を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

6 [実行(進む)] を押します。

「挙」という漢字が入ります。

部首がわかりにくい漢字については本来の部首以外でも呼び出せるものがあります。
（例：「岩」は「山」でも「石」でも呼び出せます。）

漢字の一覧表から入力したい文字を見つける(JIS区点コード)

ワープロやパソコンなどのコンピューター機器は、漢字を番号で管理しています。番号は「区」と「点」に分かれていて、漢字1つに対して4つの数字が割り当てられています。コード番号はJIS規格で定められており、これをJIS区点コードといいます。

例 「挙」という漢字を呼び出す

1 入力したい位置にカーソルを合わせて、[漢字辞書]を押します。

2 [▲][▼]で「区点コード」を選び、[実行(進む)]を押します。



3 「挙」の区点コードは「２１８３」なので[2][1][8][3]と押し、[実行(進む)]を押します。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

「内蔵漢字一覧」
▶▶228ページ

4 [実行(進む)]を押します。

「挙」という漢字が入ります。

- 読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読みかた」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- JIS外の漢字の区点コードは「－－－－」と表示されます。
- JIS規格には収録されていても、多くの辞書で読みも意味も不明として取り扱われている漢字は「音義未詳」と表示されます。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能(41ページ)ははたらきません。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや色などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの(米：メートル、弗：ドルなど)は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

● 漢字辞書詳細表示について

呼び出した漢字については、次のような詳細な情報が表示されます。





この画面では[▲][▼]を押して、表示を切り替えることができます。

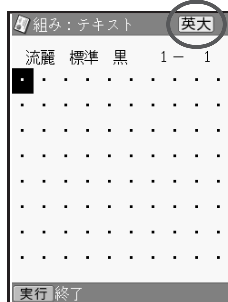
アルファベットを入れる

アルファベット入力の方法は、かな入力・ローマ字入力どちらでも操作は同じです。

アルファベットの大文字を入れる

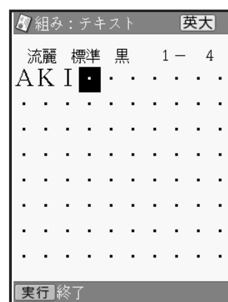
例 AKI

1 英字大/小 を何回か押して、画面右上に「英大」を表示させます。



2 たA るK よI と押します。

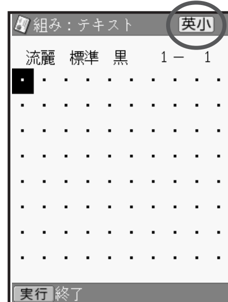
アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。



アルファベットの小文字を入れる

例 aki

1 英字大/小 を何回か押して、画面右上に「英小」を表示させます。



2 たA るK よI と押します。

アルファベットはキーを押したと同時にその文字に確定されます。



大文字と小文字の入力を切り替えるには

画面右上に「英大」が表示されているときに シフトかな小 を押すと、小文字が入力できます。また、画面右上に「英小」と表示されているときに シフトかな小 を押すと大文字が入力できます。

,（カンマ）.（ピリオド）を入れるには

画面右上が「英大」または「英小」となっているときに、次のキーを押します。

カンマ：へ、　　ピリオド：ん。

記号や入力しにくい文字(ゑ、ヴなど)を入れる

普通の文字のほかに、いろいろな記号を入れることができます。

キーに印刷されている記号を入れる

普通の文字のほかに、キーに印刷されているいろいろな記号を入れることができます。記号を入れるときは、アルファベットが入る状態にしてから入れます。



キーに印刷されている記号

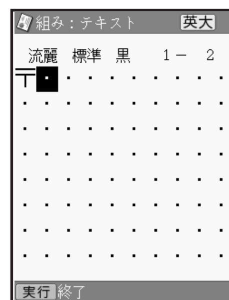
例 〒

1 [英字 大/小] を何回か押して、画面右上に「英大」または「英小」を表示させます。

ローマ字入力になっているときは、この操作は行う必要はありません。



2 [う 〒] を押します。



キーに印刷されていない記号や入力しにくい文字(ゑ、ヴなど)を入れる

記号は、8つのグループに分かれています。222ページの「記号一覧」を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているかを確かめてください。

∝ ¥ ㊙ ⑩ ゑ ヴ



例 ★(グループ：一般)

1 記号 を押します。

組み：テキスト
記号
ジャンルを選択
記述・カッコ
学術
単位・略
一般
数字
ギリシア・ロシア
入れにくい文字
実行 終了

記号のグループ名

2 ▲ ▼ で「一般」を選び、実行(進む) を押します。

組み：テキスト
記号
［一般］
田&＊@§※〓♯♭
♪†‡¶〇→←↑↓
☆★○●◎◇◆□■
△▲▽▼♠♤♥♡♣
♧♦♢
実行 終了

3 ▲ ▼ ◀ ▶ を何回か押して「★」を探します。

4 実行(進む) を押します。

組み：テキスト 英大
流麗 標準 黒 1－ 2
★
実行 終了

文字を間違えたときは

文字を間違えて入れたときの直しかたを説明します。

間違えた文字を直す

文字を直すときは、間違った文字を消してから、そのまま正しい文字を入れます。

例 「ゆきこ」を「ゆうこ」に直す

1 ◀ ▶ を何回か押して、直す文字にカーソルを合わせます。



2 削除 を押します。

「き」が削除され、「こ」がつまります。

3 正しい文字を入れ、実行(進む) を押します。

「う」が「こ」の前に入ります。

すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。



間違えた文字を消す

文字を1文字ずつ消すときの方法を説明します。

例 「ひっここし」の「こ」を消して「ひっこし」に直す

1 ◀ ▶ を何回か押して、消したい文字にカーソルを合わせます。



2 削除 を押します。

「ひっこし」になります。続けて文字を入れるときは、文章の終わりまでカーソルを移動させます。



※最後に入れた文字を消すときは 後退 を押します。

文字の抜けているところに文字を追加する

例 「あた」を「あきた」にする

1 ◀ ▶ を押して、追加するところにカーソルを合わせます。



2 文字を入力して、実行(進む) を押します。

すでに入っている文字を消さずに、新しい文字が追加されます。



「文字をまとめて消す」こともできます。(▶▶57ページ)

文字を修飾する

本機は、文面の「見出し」(▶▶129ページ)と「テキスト」(▶▶132・143ページ)で書体(フォント)や文字の形を指定したり、色を変えることができます。

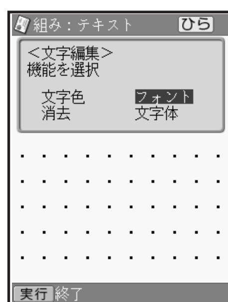
文字の書体を変える(フォント)

文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

あ　あ　あ　あ　あ

ゴシック　丸ゴシック　明朝　毛筆楷書　毛筆流麗

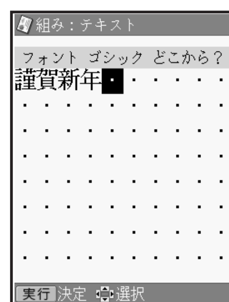
1 文字を入れてから、[機能] を押します。



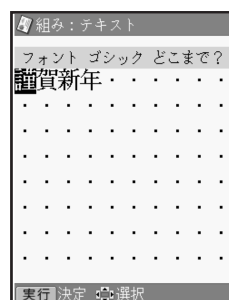
2 [▲] [▼] [◀] [▶] で「フォント」を選び、[実行(進む)] を押します。



3 [◀] [▶] で書体を選び、[実行(進む)] を押します。



4 [◀] [▶] で書体を変えたい最初の文字を選び、[実行(進む)] を押します。



5 ◀ ▶ で書体を変えたい最後の文字を選び、実行(進む) を押します。

指定した書体の名称が表示されます(印刷すると指定した書体で印刷されます)。



重 要 毛筆流麗体は他のフォントに比べて文字が小さくデザインされています。文面のテキストに利用する場合はご注意ください。

- 書体を指定した文字のすぐ前に文字を追加すると、追加した文字もその書体になります。

例 あいうえお → あいうえかきくけこお

丸ゴシック体を指定　　追加した文字も丸ゴシック体となる

- 文字が何もない部分に書体を指定すると、そのあとに入れる文字すべてがその書体になります。

例 あ い ・ → あいうえおかきくけこ

毛筆楷書　この部分に丸ゴシック体を指定　　丸ゴシック体になる

※「外字」(62ページ)で作成した文字に、書体を指定することはできません。

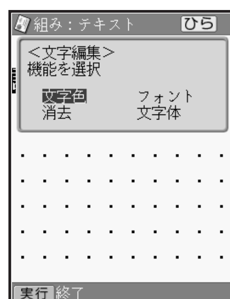
文字の色を変える（文字色）

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

●指定できる色

黒　赤　緑　青　桃色　空色　灰色　白

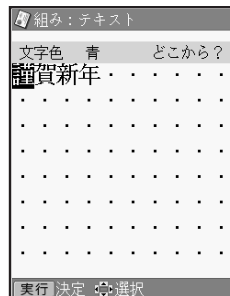
1 文字を入れてから、[機能]を押します。



2 [▲][▼][◀][▶]で「文字色」を選び、[実行(進む)]を押します。

色の種類が表示されます。

3 [◀][▶]で色を選び、[実行(進む)]を押します。

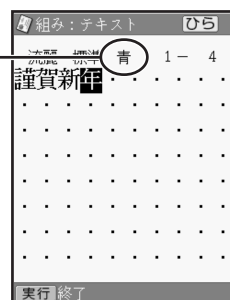


4 [◀][▶]で色を変えたい最初の文字を選び、[実行(進む)]を押します。



5 [◀][▶]で色を変えたい最後の文字を選び、[実行(進む)]を押します。

指定した色名が表示されます（印刷すると指定した色で印刷されます）。



文字色の「白」はコメントプリントで写真の上に文字を合成する場合にご利用ください。
文字色が「白」の場合は、文字に黒色の輪郭がつきます。輪郭をつけたくないときは、「白色の文字に輪郭をつけないようにする」（205ページ）をご覧ください。

※白い文字部分はインクによる印刷をしないことによって、その部分の紙の地色が見えるように印刷するもので、白いインクで印刷するものではありません。

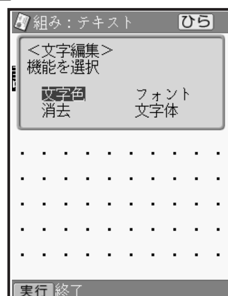
※輪郭をつけないようにした場合は、文面など白い背景の上に白い文字を配置しても、何も印刷されません。

文字の形を変える（文字体）

文面の「見出し」と「テキスト」で文字を入力できる画面になっていることを確認してください。

標準	白抜き	影付	立体	太文字

1 文字を入れてから、［機能］を押します。

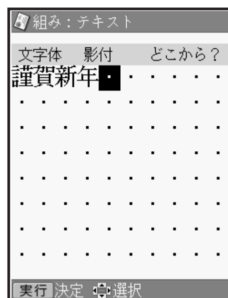


2 ［▲］［▼］［◀］［▶］で「文字体」を選び、［実行（進む）］を押します。

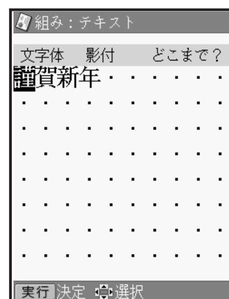
文字体の種類が表示されます。



3 ［◀］［▶］で文字の形を選び、［実行（進む）］を押します。



4 ［◀］［▶］で文字の形を変えたい最初の文字を選び、［実行（進む）］を押します。



5 ［◀］［▶］で文字の形を変えたい最後の文字を選び、［実行（進む）］を押します。



指定した文字体の名称が表示されます（印刷すると指定した文字体で印刷されます）。

- 文字体を指定した文字を標準の文字に戻すときは、手順3で「標準」を選びます。
- 「テキスト」に文字体を指定すると、文字によってはきれいに印刷されないことがあります。はがきなどに印刷する前に、必ず試し印刷を行って、仕上がりを確認してください。

※「毛筆流麗体」（83ページ）と「外字」（62ページ）で作成した文字に、文字体を指定することはできません。

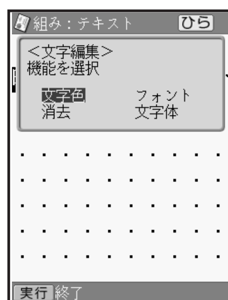
文字をまとめて消す

文字を範囲を決めて消したり（部分消去）、入れた文字を全部消す（全文消去）ことができます。

範囲を決めて消す（部分消去）

文字が入力してある画面になっていることを確認してください。

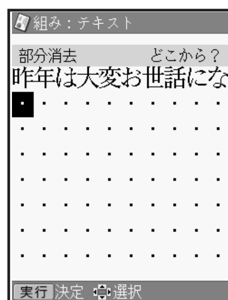
1 機能 を押します。



2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「消去」を選び、実行（進む）を押します。



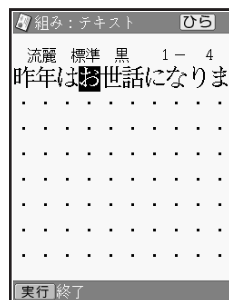
3 ◀ ▶ で「部分消去」を選び、実行（進む）を押します。



4 ◀ ▶ で消したい最初の文字を選び、実行（進む）を押します。



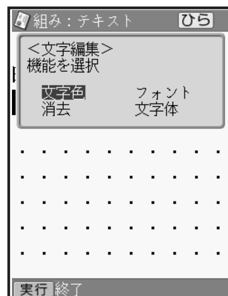
5 ◀ ▶ で消したい最後の文字を選び、実行（進む）を押します。



入れた文字を全部消す（全文消去）

文字が入力してある画面になっていることを確認してください。

1 機能 を押します。



2 ▲▼◀▶で「消去」を選び、実行(進む) を押します。



3 ◀▶で「全文消去」を選び、実行(進む) を押します。

4 ◀▶で「はい」を選び、実行(進む) を押します。

操作を中止するときは、「いいえ」を選び、実行(進む) を押します。

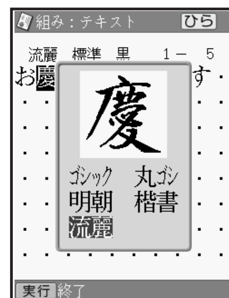
文字を大きくして確認する(はっきりズーム)

文字入力画面で、入力している文字を大きく表示します。画数の多い漢字の細かい部分なども確認することができます。漢字辞書や単漢字変換の漢字候補中に使うと便利です。

1 ▲▼◀▶で確認したい文字にカーソルを合わせます。

2 [はっきりズーム]を押します。

手順1で選んだ文字が拡大されます。



このとき▲▼◀▶を押すと、表示フォントを変えて確認することができます。
表示フォントは「ゴシック」「丸ゴシック」「明朝」「楷書」「流麗」の5種類です。

元の画面に戻るには、[実行(進む)]、[はっきりズーム]、または[取消し(戻る)]を押します。

重要
- 次の文字は拡大表示できません。
  - 文字入力画面以外の文字
  - 確定されていない文字
  - 改行マーク
  - 漢字辞書機能の部首
  - 外字
- 拡大表示中にフォントを変えても、文字入力画面でのフォントは変わりません。

よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書：語句）

日常よく使う専門用語などを「よみ」とともに登録しておくと、「よみ」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「よみ」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。

語句を登録する

1 ▲▼◀▶ でトップメニュー画面から「設定」を選び、実行(進む) を押します。

トップメニュー画面
▶▶ 34ページ

2 ▲▼ で「ユーザー辞書」を選び、実行(進む) を押します。

3 ▲▼ で「語句」を選び、実行(進む) を押します。

登録されている単語があるときは、一覧が表示されます。

4 機能 を押します。

5 ▲▼ で「追加」を選び、実行(進む) を押します。

6 ▲▼ で「語句」を選び、登録したい単語を入れます。

ここでは、「秋葉原」と入力します。

ユーザー辞書：語句　ひら
語句の追加
語句 秋葉原
読み
実行 決定

7 ▲▼ で「読み」を選び、読みを入れます。

ユーザー辞書：語句　ひら
語句の追加
語句 秋葉原
読み あきば
実行 決定

重要 「読み」を選ぶと、入力モードはひらがなになります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

8 語句と読みの入力が終わったら、実行(進む) を押します。

登録を確認するメッセージが表示されます。

9 ◀ で「はい」を選び、実行(進む) を押します。

登録が終わり、語句の一覧に戻ります。追加した語句が一覧に表示されます。

ユーザー辞書：語句一覧

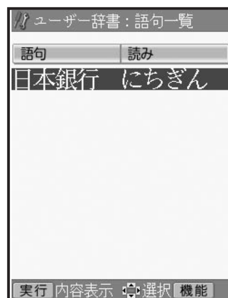
語句	読み
秋葉原	あきば
日本銀行	にちぎん

実行 内容表示　選択　機能

語句は最大100件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 **60ページの手順1から3の操作をします。**
語句の一覧が表示されます。



2 **▲▼で修正する語句を選び、実行(進む)を押します。**
選んだ語句の登録内容が表示されます。

3 **機能を押します。**

4 **▲▼で「修正」を選び、実行(進む)を押します。**

5 **▲▼で「語句」を選び、語句を修正します。**

6 **▲▼で「読み」を選び、読みを修正します。**

重 要　「読み」を選ぶと、入力モードはひらがなになります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

7 **語句と読みの入力が終わったら、実行(進む)を押します。**
修正を確認するメッセージが表示されます。

8 **◀で「はい」を選び、実行(進む)を押します。**
修正が終わり、語句の一覧に戻ります。

登録した語句を削除する

削除には、選んだ語句だけを削除するか、すべての語句を削除するかの2つの方法があります。

① **60ページの手順1から3の操作をします。**
語句の一覧が表示されます。選んだ語句だけを削除するときは②へ、すべての語句を削除するときは③へ進みます。

② **▲▼で削除したい語句を選び、実行(進む)を押します。**
選んだ語句の登録内容が表示されます。

③ **機能を押します。**

④ **▲▼で「削除」を選び、実行(進む)を押します。**
削除の方法を選ぶ画面が表示されます。

⑤ **▲▼で「1件だけ削除」または「全ての語句を削除」を選び、実行(進む)を押します。**
削除を確認するメッセージが表示されます。
「1件だけ削除」を選んだときは、選んだ語句が表示されます。確認後、実行(進む)を押してください。

⑥ **◀で「はい」を選び、実行(進む)を押します。**
削除が終わり、語句の一覧に戻ります。

語句（ユーザー辞書）の登録件数を確認するには

① **60ページの手順1から4の操作をします。**
機能メニューが表示されます。

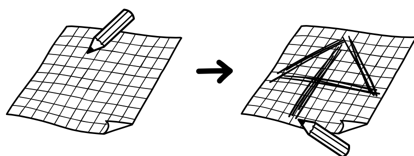
② **▲▼で「登録件数」を選び、実行(進む)を押します。**
登録件数が表示されます。

自分で文字を作る(外字)

↗や1などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます。自分で作った文字を外字といいます。
外字は6つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。

● 外字はこうやって作ります

本機の文字・記号などはすべて点(ドット)の集まりです。点を1つ1つ塗りつぶしたり、消したりすることにより、自由自在に文字を作ります。



外字を作る方法として次の2つがあります。どんな外字を作るのかによって方法を選びましょう。

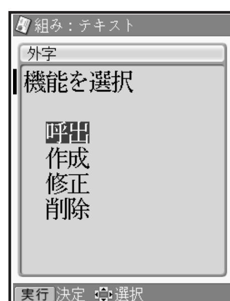
●はじめから自分で作る(**新規作成**)
…はじめから新しい文字を作るとき。

●本機の中にある文字を利用して作る(**参照作成**)
…「⟷」や「⦸」のように、既存の文字が利用できるときは、この方法が便利です。

はじめから自分で作る(新規作成)

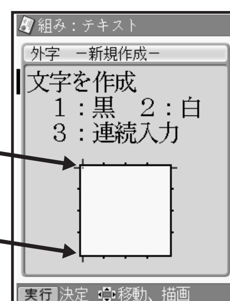
例 1

1 **文字にカーソルが合っていない状態で、外字 と押します。**



2 **▲ ▼ で「作成」を選び、実行(進む) を押します。**

カーソル…
赤色の■のことです。
スケール…
現在カーソルがどこにあるのかを示します。カーソルの動きに合わせて動きます。



外字作成画面

3 外字作成画面で外字を作成します。

カーソルを移動させるときは	▲▼◀▶を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、1(黒)を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶした点までカーソルを移動し、2(白)を押します。
線を描くときは	1(黒)→3(連続入力)と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2(白)→3(連続入力)と押してから、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

4 外字が完成したら、実行(進む)を押します。



5 ▲▼◀▶を押して、作った外字を登録する場所を選びます。

重要 すでに外字が登録されている場所を選んで実行(進む)を押すと、上書きの確認メッセージが表示されます。

6 実行(進む)を押します。

登録のメッセージが表示され元の画面に戻ります。

- 外字作成画面で1(黒)または2(白)のどちらかが指定されているときは、3(連続入力)を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。
- 斜め方向に連続してドットを塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1ドットずつ行ってください。

本機にある文字を利用して作る(参照作成)

例 本機の文字「1」を利用して、[1]を作る

1 文字を入力できる画面で、①を押します。

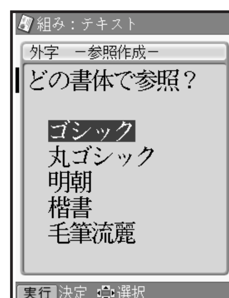
2 ◀▶を押して、「1」にカーソルを合わせます。



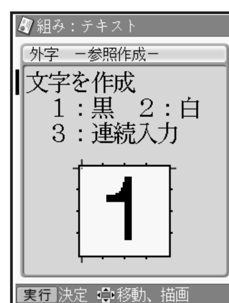
3 外字と押します。

4 ▲▼で「作成」を選び、実行(進む)を押します。

5 ▲▼で「参照作成」を選び、実行(進む)を押します。



6 ▲▼で書体を選び、実行(進む)を押します。



7 63ページの手順3からの操作を行い、外字を作成し登録します。

自分で作った文字を使う

1 文字が入力できる画面で外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 外字と押します。

3 ▲▼で「呼出」を選び、実行(進む)を押します。



4 ▲▼◀▶で、呼び出す外字を選び、実行(進む)を押します。

呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

「間違えた文字を消す」
▶▶ 51ページ

自分で作った文字を修正する

例 ↗ → ⬀

1 文字が入力できる画面で 外字 と押します。

2 ▲ ▼ で「修正」を選び、実行(進む) を押します。



3 ▲ ▼ ◀ ▶ で、修正する外字を選び、実行(進む) を押します。

4 63ページの手順 3 からの操作を行い、外字を修正し、登録します。

自分で作った文字を削除する

外字を文章の中に入れていたときに、その登録した外字を削除すると、文章の中の外字は空白で印刷されます。

1 文字が入力できる画面で 外字 と押します。

2 ▲ ▼ で「削除」を選び、実行(進む) を押します。



3 ▲ ▼ ◀ ▶ で、削除する外字を選び、実行(進む) を押します。

4 実行(進む) を押します。

- メモリーカードにデータを保存したときは、外字は保存されません。外字を使用した宛名・文面・コメントプリントを呼び出したときは、外字の内容を確認することをおすすめします。外字の部分が空白になっている場合は、再度外字を入力してください。

MEMO